



講師

## 望月衣塑子氏

東京新聞社社会部記者

### 【講師プロフィール】

1975年生まれ。慶應義塾大学法学部卒業後、東京・中日新聞入社。県警や東京地検特捜部、東京地裁・高裁等担当。経済部を経て社会部遊軍記者。著書に『新聞記者』『武器輸出と日本企業』（角川新書）、共著に『武器輸出大国ニッポンでいいのか』（あけび書房）など。

加計学園問題で発覚した「総理のご意向」文書。しかし、記者会見で菅官房長官は、「怪文書」「追及は不要」と葬り去ろうとしました。何度も鋭く質問し食い下がったのが望月記者。その後、文科省の再調査につながり文書の存在は明らかになりました。都合の悪いことをいわない政府、甘い報道、その結果、国民は真実を知らされないことに…。そして、望月記者に対し、官邸は異例とも言える取材制限を講じてきました。権力と向き合うメディアの存在意義を揺るがす重大な局面であり、当日は「追及をあきらめない」望月氏のジャーナリストとしての思いや危機感をお聞かせします。

# まやかしの政治と ジャーナリズムの危機

入場  
無料

とき

2019年7月13日(土)  
17:30~19:00

ところ

ザ・ホテル長崎BW  
プレミアコレクション3F

(旧ベストウエスタンプレミアホテル長崎・長崎市宝町2-26)

お問い合わせ先

長崎県保険医協会

TEL 095-825-3829



長崎県保険医協会は国民も医師もともによろこべる医療制度の改善をめざす1,920人の医師・歯科医師で構成する団体です。